

## 産業における安全保障

Kuroda International Foundation

Takeshi Kuroda

全ての産業における自国安全保障は、その独立を維持する唯一の選択である。資本の保有とともに、政治における安全保障政策は、世界先端性を唯一行い、自国の維持を行う。

これらは明らかに政治における合意を有し、軍と産業、資本と外交における自国の自立を要求される。

これらは世界の現実において、民間と政治における資本、軍、政治力を有する自由主義陣営が、新世界秩序という計画を背後に有するため、将来において必ずこの現実に対峙することになるのである。

これらは必ず政治における正しい選択である。しかし世界におけるスーパーパワーは、それら現実の許容を必ず問うのである。それはアメリカヨーロッパにおける機構と情報局は、それら全ての現実へのコントロールを求めるのである。

そのため自立と独立における政治の合意は、世界のこれら全ての現実に対して、対等性の構築を早急に要求される。

世界の現実は、メディアにおける現実でないのである。それは必ずパワーポリティックスという現実に対峙しなくてはいけない。

そのためこれらの選択は必ず正しいのである。またアメリカヨーロッパユダヤの資本力へ、対等性を求められる。

対等性は、虚言における現実でないのである。全ての現実において自己の対等性を構築することなのである。